



前橋育英高校報

題字 中村有三 学園長

建学の精神 ～正直・純潔・無私・愛～

ともに希望を語ろう

希望とは 君の明日であり
私たちの将来であり 日本の未来でもある

創立50周年記念事業

新第1体育館 完成!

創立50周年記念式典 平成25年10月19日(土)



CONTENTS



特集 2・3面

- ・校長より
- ・卒業生教諭情報交換会
- ・特別寄稿
創立50周年に向けて
- ・進路・スポーツ実績



保護者会だより 4・5面

- ・進路講演会
- ・合同研修視察旅行
- ・体育祭
- ・吹奏楽部定期演奏会
- ・スポーツレクリエーション
- ・マナーアップ



同窓会だより 6面

- ・同窓会長挨拶
- ・親子二代同窓生
- ・私の近況報告



後援会だより 7面

- ・後援会長挨拶
- ・総会報告
- ・合同研修視察旅行
- ・優秀育英生



トピックス 8面

- ・演劇教室
- ・科学愛好会
- ・県高校芸術祭(演劇部)
- ・秋季関東野球大会
- ・全国大会出場決定

新校長挨拶

ともに希望を語ろう

竹淵 敏



先日、サッカーの県予選決勝を応援するため、木枯らしの県営サッカーグラウンドに向かいました。そこにはサッカー部員だけでなく、他のクラブの部員たちや多くの一般生徒も来てくれていました。思わず叫び声を上げ、ゴール前でのピンチではセービングするかのよう両手を伸ばし、歓声とどよめき、落胆と喜びのなかに、確かな一体感が生まれていました。

前校長挨拶

次の五十年に向けて

小茂田 恵三



平成二十四年度、前橋育英高校は第五十期の入学生を迎え入れました。学校創立以来半世紀の星霜を重ね、いよいよ、次の五十年に向けて歩み出そうとしています。そういつた中、私自身もこの三月三十一日を以て任期満了となり、退職させて頂きました。昭和五十年の前橋育英高校への奉職ですので、三十七年間お世話に

今年度、前橋育英では、前橋育英で学ぶことの誇りをめざす、学校として掲げています。前橋育英は一つのチームです。チームは共通とする一つの目標を持ち、一丸となって進むことが目的とされています。誇りを胸に、自信を深めるためには、個人の努力や頑張りが必要であるとは言うまでもありません。しかし、ここに所属する個人はそれぞれ多くの別の顔も持っています。家族の中での位置、友人との関係、地域での立場や所属するクラブやサークルといった様々な顔があり、そしてそれぞれの顔に合わせた目標や価値観があります。人間は自由な存在ですが、勝手気ままに生きるということではありません。人間がたまた一人で存在することができないのと同様に、他者の存在は学習面においてもクラブ活動や学校行事、その他の諸活動においても不可欠なものです。生身の人間です。誤解や思い込みから傷つけ合うこともあるかもしれません。だからこそ、相

なりました。育英五十年の歴史の中に、自分も参画できたことに改めて感慨ひとしおです。就中、七年前の校長在任中は、学園を始め、高校関係各位には多大なるご指導ご支援を頂きました。深く感謝しております。有り難うございました。創立五十周年を迎えようとしている今日、前橋育英は充実期を迎えています。生徒達の文武に亘る活躍は、学校関係者のみならず地域社会に勇氣と自信を与えてくれます。この時期、さらに切磋琢磨を重ね、卓越した教育実践の学校として地域社会に貢献して欲しいと念願しています。前橋育英の根幹となる、建学の精神Ⅱ『正直、純潔、無私、愛』の四つの道義標準と『育英』の校名の由来をも包含させ、時代のニーズに応えるべく新たな解釈を加えて次な

手の心に自分を重ねることで共感が生まれ、互いに尊重し合い、高め合い切磋琢磨するなかで、自信を深め共感することができるとです。冒頭述べたサッカーはその一つの例であり、学校におけるあらゆる教育活動は前橋育英で学ぶことに誇りを持つ契機となり得ます。前橋育英というチームに所属しているという誇りをいかに生徒諸君に持つてもらえるかが、私の校長としての目標であり使命でもあると考えています。保護者、同窓会、後援会や全ての前橋育英に関わる皆様のお力とご支援をどうかお願いいたします。殊に私学では、私たちの一体化が来年度五十周年を迎え、更なる高みへと向かうためには欠くことができません。来年度、新たな一年生が入学してきます。彼らに向けて、「ともに希望を語ろう」と呼びかけています。今こそ、私達自身が希望を語るべきなのです。

卒業生教諭情報交換会 vol.2

～教育現場から期待すること～ 平成24年11月14日

【金子登先生】日頃生徒たちを見てみると、人間関係の構築が苦手で組織の中で過ごすことが出来ない生徒が増えています。しかし、その子達はテストではきちんと得点が取れます。その様な生徒を高校の現場でどのように育てることが出来るか重要な課題であると思います。

【齋藤大輔先生】進路選択で親の意向は基本的に地元志向です。しかし前橋から他の市へ流れる生徒が出るのは、育英高校が受け入れる生徒は限られた狭い範囲の生徒であるからだと思います。育英高校へ行きたいのだけれど他の高校へ行く生徒の中にはすごくいい子もいます。多くの可能性を持った子もいます。このような生徒を受け入れてもらいたいです。

【小池和幸先生】このような輪がさらに広がり、交流が図れるとよいと思います。勤務校でも三学年から外れると入試の情報が入らず育英高校の変更点など分からなくなりますが、是非毎年開催していただきたいです。

【玉田先生】それぞれのコースの卒業生から在校生に向けて、話をしてもらおう機会を設けたらよいと思います。そのためにも卒業生のネットワークをより強固にして欲しいです。

【中川徹先生】育英高校の活躍ぶりは新聞紙上で連日目にします。さらに飛躍する潜在能力が秘められていると考えます。卒業生として期待しているからこそ、あらゆる面でさらに大きく成長してほしいと思います。

【岩崎真人先生】確かに育英高校の活躍は素晴らしいと思います。が、他の学校と比較して特別なカラーがあるということではありません。他にはないオンラインの何かを築いてほしいと思います。

これらの貴重な意見をお聞きした上で、竹淵校長より、「育英高校としても現行の指導体制をさらに良いものにするため、土曜授業、2学期制、始業時間等を検証し、生徒全員がより活動的に高校生活を送り、成果を上げるための基盤づくりを進めています。」とのお話がありました。

最後に山田教頭より、「本日は貴重な時間お集まりいただきありがとうございました。今後益々この会も多くの方々に集まって頂き盛大にやりたいと思います。」先生方の益々の活躍を期待いたします。」と閉めていただきました。

【小川真太郎先生】育英高校の入試で、学特I期については他の私学と重なることがなく調整してきているのだと思いますが、II期は日程がダブっているために受験しなくてはならない生徒がいます。II期についても調整をお願いいたします。

【橋本智之先生】遠方の山間部の学校で小規模校ですが、育英高校に憧れている子は毎年います。しかしスポーツで優れた生徒以外



岩崎先生



小川先生



中川先生



進路

～きっと見つかる、いろんな夢～

過去3年間進路実績

大学合格者数 **1,247名** (現役1,134名)

国公立大学合格者数 **122名** (現役103名)

私立大学合格者数 **1,125名** (現役1,031名)

キャリア教育

4月に1年生には進路指導部による昨今の進路状況を伝える講演会を、2・3年生には指導部発信のデータを基にした「EPO」を実施。6月には教育実習生(OBOG)による大学の授業や学生生活の詳細を聞く機会を設け、9月には類型別に社会人OGとして前橋あそか会の根岸さんや地元国公立大学に在学のOBOG3人から講演を頂き、更には現役東大生によるパネルディスカッションを実施。今年度は積極的に卒業生に関わってもらい、生徒達が将来の自分と重ねて考えられるキャリア教育となりました。

進路ガイダンス

3年生は6月、1・2年生は11月に県内外を代表する大学、短大、専門学校等の教職員を招き、全体会、各分野別講義(一人2講座)といった時間割で実施しました。内容は各学年の実態に合わせて、内容が、各学年とも大学、短大、専門学校や就職、公務員希望と生徒の希望分野に対応した講義構成だったため、生徒にとっては希望大学の先生の生の声が聞けるとあって、講義終了後も質問の生徒で賑わっていました。

進学合宿

新潟県のニユーグリーンピア津南での実施も四回目を迎え、今年は7月21日～24日の日程での実施となりました。昨年度を大きく上回る126名の参加となった今回の合宿は、1年生に講義を取り入れるなど内容もリニューアルしつつ、受験直前の3年生と同室で勉強することで自学自習の方法を体感するスタイルは継承されました。各教科の先生も多数参加し、1年生の授業や自習時間での質疑応答で生徒と先生との活発なコミュニケーションもとれました。

大学見学

10月9日、秋休みを利用して、今年は普通科全クラスが首都圏の大学見学に行きました。普段個人では見ることの出来ない大学独自の施設巡りや、学生から来ない生活の説明を直接聞くなど、貴重な体験をさせて頂きました。また、お昼は大学の学食で学生と共にランチタイムを過ごし、具体的な学生生活のイメージが掴めた様子でした。特に東京大学では現役大学院生との懇談もあり、難関大学への精神的な距離も縮まり、新たな志を抱いた生徒もいるようです。

特別寄稿

創立五十周年に向けて

前橋育英高等学校教職員退職者の会
会長 中村 隆夫



創立五十周年おめでとうございます。私が、前橋育英高等学校に奉職したのは、昭和四十年四月一日でした。そして、平成十一年三月末日を以て定年退職をいたしました。三十二年お世話になりました。昭和三十三年三月に明治大学法学部法律学科を卒業し、キヤノン(株)傘下の事務機器の製造販売の会社に入社し、新潟市内の営業所に配属されましたが、そのころの日本の企業は事務機械は殆ど普及しておらず、官庁及び企業では女性事務員がそばらん等を駆使して書類作成していた時代でした。日本は昭和三十三年に東京オリンピックが開催され、高度成長を迎え、経済界が活性化していました。そんなときに、企業等を毎日訪問し、事務の効率化を唱え、事務機の販売と会社の宣伝に奔走しておりました。乗用車の免許がなかったので、徒歩で企業訪問をしていました。

創立五十周年おめでとうございます。私が、前橋育英高等学校に奉職したのは、昭和四十年四月一日でした。そして、平成十一年三月末日を以て定年退職をいたしました。三十二年お世話になりました。昭和三十三年三月に明治大学法学部法律学科を卒業し、キヤノン(株)傘下の事務機器の製造販売の会社に入社し、新潟市内の営業所に配属されましたが、そのころの日本の企業は事務機械は殆ど普及しておらず、官庁及び企業では女性事務員がそばらん等を駆使して書類作成していた時代でした。日本は昭和三十三年に東京オリンピックが開催され、高度成長を迎え、経済界が活性化していました。そんなときに、企業等を毎日訪問し、事務の効率化を唱え、事務機の販売と会社の宣伝に奔走しておりました。乗用車の免許がなかったので、徒歩で企業訪問をしていました。

スポーツ実績 2012 Summer~Autumn

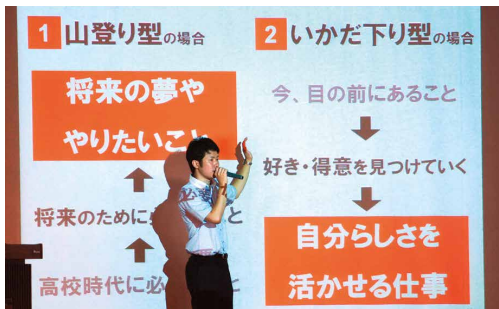
- 陸上競技部**
 - 全国高等学校総合体育大会 陸上競技大会 秩父宮賜杯 第65回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
 - 男子 【棒高跳】南雲 由則(3年) 4m60 16位
 - 第86回 関東陸上競技選手権大会
 - 男子 【円盤投】篠崎 拓郎(2年) 39m81 8位
 - 女子 【やり投】小河原 智絵(2年) 42m25 8位
 - 第67回 国民体育大会 ぎふ清流国体
 - 男子 【100m】鈴木 宏明(3年) 10秒71 準決勝進出
 - 【円盤投】篠崎 拓郎(2年) 42m00 17位
 - 【4×100mR】第一走者 鈴木(3年) 40秒76 準決勝進出
 - 第28回 日本ジュニア陸上競技選手権大会
 - 男子ユース 【円盤投】篠崎 拓郎(2年) 43m53 6位
 - 梅山 陽介(2年) 38m52 14位
 - 第16回 関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会
 - 男子 【円盤投】篠崎 拓郎(2年) 44m77 1位
 - 【走棒跳】高木 亮(2年) 4m60 2位
 - 【ハンマー投】梅山 陽介(2年) 50m83 5位
 - 女子 【やり投】小河原 智絵(2年) 40m98 4位
 - 第47回群馬県高等学校総合体育大会 駅伝競争の部
 - 男子 優勝
- サッカー部**
 - 第91回全国高校サッカー選手権大会 群馬県大会
 - 男子 優勝
- バスケットボール部(男子)**
 - 第43回 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会(ウィンターカップ)県予選会・優勝(ウィンターカップ出場)
- 自転車競技部**
 - 全国高等学校総合体育大会 自転車競技大会
 - 男子トラック 【ロードレース】(全長123.2km) 竹鼻 悠馬(3年) 25位
 - 小山 貴大(1年) 48位
 - 女子 【スクラッチ】谷 伊央里(2年) 7位
- 水泳部**
 - 全国高等学校総合体育大会 水泳競技大会
 - 男子競泳 【100mバタフライ】浮島 直登(2年) 54秒81 7位
 - 【200mバタフライ】浮島 直登(2年) 2分1秒83 8位
 - 男子飛込 【高飛込】後藤 福寿(3年) 11位
 - 【飛板飛込】後藤 福寿(3年) 8位
 - 第67回 国民体育大会 ぎふ清流国体
 - 男子 【50m自由形】浮島 直登(2年) 23秒43 4位
 - 【200mバタフライ】浮島 直登(2年) 2分0秒60 6位
 - 【飛板飛込】後藤 福寿(3年) 9位
 - 【高飛込】後藤 福寿(3年) 15位
- 卓球部**
 - 全国高等学校総合体育大会 卓球競技大会
 - 男子シングルス 工藤 佑哉(3年) 出場
- 弓道部**
 - 第31回 関東高等学校弓道個人選手権選抜大会
 - 男子 梅沢 俊昭(2年) 準決勝進出
 - 群馬県高等学校弓道中毛地区大会
 - 男子団体 優勝
 - 男子個人 藤間 誠雪(2年) 優勝
 - 田中 悠貴(2年) 2位
 - 第31回全国高校弓道選抜大会県予選
 - 男子団体 2位
 - 男子個人 梅沢 俊昭(2年) 優勝
 - 全国大会出場権獲得
- ウエイトリフティング部**
 - 第14回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会
 - 【48kg級】 牛崎 真由(2年) トータル121kg 4位
 - 【53kg級】 吉田 悠芽(2年) トータル131kg 8位
- 剣道部(男子)**
 - 全国高等学校総合体育大会 剣道大会
 - 男子個人 澁谷 和彦(3年) 出場
- 硬式野球部**
 - 第65回 秋季関東地区高等学校野球大会 群馬県予選
 - 優勝(関東大会出場)
- ダンス部**
 - USA School & College Competition 2012 Show Cheer部門
 - ベストインプレッション賞受賞

保護者会だより

進路講演会

八月四日、田代康幸さんを講師に迎え、「今知ってほしい、子ども達が現代で生き残るための生涯設計」を本場に子どもまかせで良いのですか?という内容で講演を行っていただきました。

「進学」の「今」では、同じ学部系列でも、大学によって学ぶ内容・スタイルは異なるので中途退学する子どもが増えている現状がある。安易な学校選択で受験せずに、学びたい学問をイメージしてオープンキャンパスに参加するなど、情報収集



「進学にかかわるお金について」では、国公立・私立、理系・文系専門大学での学費、生活費のおおよその金額。「就職環境と社会で求められる力」では、コミュニケーション能力、主体性、協調性のある人が求められている事。「保護者とも子どものコミュニケーション」では、保護者の関わり方について。子どものしてほしい事・やめてほしい事を理解して話し合う事等を講演していただきました。質疑応答では、経験談を交えてお話し頂きました。

進路講演会を終えて

進路指導主任

阿久津 広嗣

八月四日、夏休み中の視聴覚室に於いて、今年も進路講演会を実施しました。今年は講師として(株)リクルート、エリアリーダー田代康幸先生に講演を依頼し、「今知って欲しい、子ども達が現代で生き残るための生涯設計」という題の話をして頂きました。参加して下さった保護者の皆さんは昨年を上回る139名となる今、進学に関わるお金について、就職環境と社会で求められる力、そして保護者と子どものコミュニケーションについて等、進路をアシストする業界のスペシャリストならではの最新の情報ということもあり、保護者の皆さんは熱心に耳を傾けていらつしやいました。

「進路講演会」開催にあたり

進路指導委員長

設楽 美智子

本年度の進路講演会は、(株)リクルートの田代康幸先生を講師にお招きし、親子で考える進路選択ということで、題目「今知ってほしい子ども達が現代で生き残るためのキャリアデザイン」

本場に子どもまかせで良いのですか?」で行われました。

昨今の目まぐるしく変化する大学受験(進路選択)への保護者の関わり方や、卒業後の就職で求められるのはコミュニケーション能力や主体性であることなど、親として改めて考えさせられる話がいっぱいで、あつという間の一時間でした。

最後になりましたが、開催にあたり御協力いただきました先生、職員、役員の皆様方に感謝申し上げます。多くの方々にご参加頂き、ありがとうございました。

体育祭

体育祭実行委員長

三年二組 仲本 晃恭

私は実行委員長として体育祭に携わりました。体育祭に向けて生徒会の皆さんと一緒に企画を考え、準備を進めていきました。はじめは戸惑うこともあったのですが、やること全てが自分にとって新鮮でも充実した毎日でした。

十月三日は天候にも恵まれ、元氣よく体育祭を迎えることができました。今年の体育祭は接戦を繰り広げ、大いに盛り上がりしました。特に綱引きやリレーはクラス毎の応援が大きな歓



声となり、勝敗に沸き、クラスで団結している様子がよく分かりました。そしてオリンピックに負けないくらいの活気で体育祭を終えることができました。このような思い出に残る行事に携われたことを嬉しく思います。



秋の合同研修視察

保護者会副会長 狩野 誠

去る十一月三・四日、後援会、学園協力会、同窓会、保護者会及び学校の合同研修旅行が行われました。今年の研修場所は茨城県で参加者は総勢二十八名でした。

一日目は筑波大学、筑波宇宙センター、霞ヶ浦の予科練平和記念館で、筑波大学の敷地面積の大きさや施設の充実さに圧倒されました。筑波宇宙センターでは日本の技術力の高さに感動しました。予科練平和記念館では予科練の記録写真や遺品に胸があつくなりました。宿は海岸間近の大洗ホテルでした。夜の懇談会では参加者全員が盛り上がり、合同研修の神髓を十分に発揮しました。二日目はアクアワールド大洗水族館、那珂湊おさかな市場を見学し、帰路につき無事に終了しました。



吹奏楽部



第39回 定期演奏会を終えて

指導者 熊井 正之

去る九月二十二日、前橋市民文化会館で第三十九回定期演奏会を開催致しました。当日は八〇〇名を超えた方々にご来場頂き、盛大な演奏会となりましたが、これもひとえに皆様方のご理解とご協力の賜物であると感謝申し上げます。

さて、本校吹奏楽部はこの演奏会を最後に三年生が引退し、二年生を中心とした新体制の下、新たな船出を果たしましたが、今年度の実績である高校野球県大



会での式典演奏や、コンクール県大会での4年連続金賞受賞、そして何より今回の定期演奏会の成功。これらは引退した三年生が部活に並々ならぬ情熱を持っていたからこそその成果であり、同時にその情熱に後輩たちが答えたからこそその成果であると確信しています。

学校生活の大半を楽器に捧げている彼らの熱意を今後も汲み上げつつ、皆様に認めていただけるような音楽作りと、部員一人ひとりの人間性の向上を目標に、これからも日々の練習に励んでいく決意でおりますので、今後ともご声援宜しくお願い致します。

スポーツレクリエーション交流会

保護者会スポーツレクリエーション交流会に参加して

3年保護者会副会長 松原 清通

保護者会活動の親睦を深め、円滑な保護者会活動を推進するための交流会が、九月三十日(日)に、新築となった第一体育館で行われました。

種目として、ソフトバレーボール・ユニカール(カーベット上のカーリング)・パドミントンの三種目を、一年・二年・三年の保護者各チームと教職員チーム・保護者会OBチームにわかれました。対抗戦で交流試合を行いました。

大方の予想では、平均年齢の低い教職員の圧勝で、一年・二年・三年・OBチームと若い順になるであろうとのことでした。ところが、OBチームが若々しい動きで、各種競技で素晴らしいプレーを披露して、上位を独占して優秀な成績を収めました。



年齢的に若いであろう私たちが勝てなかった原因や、何が違ったのか私なりに考えると、義務的に参加していた私たちに比べ、OBチームのみなさんは、競技を楽しむ気持ち、日々の取組姿勢がまったく違っていたと思います。



来年は、OBチームとして楽しむ気持ち、体力づくりを今から行い、より多くの関係者に参加していただけるように準備をしていきたいと思えます。

「第62回全国高P連大会」に参加して

生徒指導委員長 大淵 奈々子

第62回全国高P連大会と共に関山大会に竹渕校長と共に5名で参加してきました。



宇田科学研究所川口淳一郎氏の「はやぶさ」について講演があり、また地元の高橋生による吹奏楽や和太鼓などのアトラクションがあり、とても素晴らしい感動しました。他県の学校の活動なども知ることができ、貴重な経験をさせていただきました。

マナーアップ

マナーアップ運動に参加して

三学年委員長 入 修一

群馬県では毎月15日を自転車マナーアップデーとして交通ルールの厳守と交通マナーの実践を呼びかけています。本校では年3回朝の登校時を利用して担当の先生方と保護者役員が新前橋駅前及び学校周辺10箇所交通安全指導を行っています。

指導に当たっては、交差点に先生が立っていることもあり、生徒から積極的に挨拶がされるなどマナーもよく、大方の生徒は自転車の正しい乗り方を心掛けていた様でした。



終了後は、会議室で反省会を行い各地点でのアンケート調査や指導状況を各自報告して生徒指導に熱心に耳を傾けていました。

短時間ではありましたが、自転車事故が減少する事を願い、今後も活動を続けてもらいたいと思えます。

保護者会活動報告【10月・11月】

- 10月16日(火) 中毛地区高等学校PTA指導者研修会
- 10月24日(水) 県私立中学高等学校保護者会連合会役員会及び学校見学会
- 11月30日(金) 県高P連指導者研究集会

前橋育英

雄渾

同窓会
だより

はや一年

同窓会長 新井 信雄
(第3期生・昭和42年度卒)



前橋育英高等学校同窓会会員の皆様におかれましては益々ご清祥にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃は当会の活動・運営につきまして、物心両面にわたるご指導ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年、関根映一会長の後任として白羽の矢を立てていただき、会長職に就きました。当会は会員が二万二千人を超す規模であり、会長として私自身その任の重さを日々感じつつ、つとめさせていただいております。

君が全国区での活躍をしており新聞紙上を賑わせておりますことは、私も同窓生の誇りとするところであります。特に今年陸上部が4年ぶり3度目の駅伝の全国大会出場を決めるとともに、硬式野球部も群馬県下大会にて2年ぶり3度目の優勝を果たし関東大会に駒を進めました。群馬県高等学校総合体育大会で、十七年連続十九回目の優勝を果たしたその伝統と誇りを胸に今後後輩諸君に頑張ってもらいたいと思っております。

またクラブ活動のみならず奉仕活動においても清掃・募金・ボランティア等に積極的に取り組み、地域社会から「前橋育英」が厚い信頼をいただいておりますことは同窓生としてこの上ない喜びであります。

私の近況報告

関口 藍 第40期生 平成16年度卒



私は母校を卒業後武蔵野音楽大学に進み、現在東京でフリーの演奏活動の傍らヴァイオリン講師をしています。

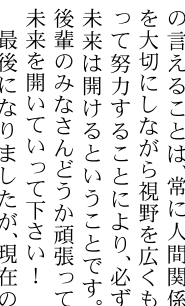
育英高校に入学したときは特進理系クラスでしたが、途中で音大進学を考慮するようにになり、二年次より特進文系クラスに変更しました。担任をしていただいた木村先生と上原先生には大変お世話になりました。

音大在学中は積極的に一般教養や実技の修得に励みました。また、音楽を職業とする上で人間関係を築くことはとても大切だ、との恩師からの教えを受け、キャンパス内にとどまらず、卒業生や他大学との交流も活発に取り組んだ結果、学生のうちからアマチュアオーケストラや指導の仕事をしたことができました。

音楽活動だけの自立は難しいのですが、大手の音楽教室講師に採用していただき、在学中に築いた交友関係により、ブライダル関係やパーティーの仕事など更に幅の広い活動もできるようになりました。またありがたいうちに大学から努力を認めていただき、大学のオーケストラのエキストラとして学生と演奏する仕事をいただいたり、国内外の演奏会にも参加したりしています。ただでさえ就職難な中、正社員ではない不安はあるものの、おかげさまで順調に自立することができました。

親子二代同窓生

吉井 美晴 (第26期生) 未来 (第49期生)



島田 めぐみ (第31期生 平成7年度卒)

皆さんこんにちは。平成7年度に保育科を卒業しました(旧)

私は保育科を卒業しましたが、そちらの方面へは進まず、別の道を選びました。二人のことも出産した後に勉強を重ね、現在はアロマセラピのサロン・教室を主宰しております。保育・幼児教育の世界で頑張っている友人たちの活躍ぶりを見て、幼児教育の世界に進まなかったことを後悔した時期もありました。そしてその度に、先生に短大進学を強く勧められたことなどをありがたいた言葉とともに思い出しました。

昨年、娘が入学し、親子二代で同窓生になりました。娘も私も保育科の同じ学舎で学び、多感な思春期を過ごせるということに、一番喜んだのは私自身だったのかも知れません。

松井めぐみと申します。

私は育英高校での3年間は、保育科ということもあり、同じ目的をもつ仲間ばかりでしたので、気の合う友人が多く、毎日笑いのたえない日々を過ごしていました。また、部活動はダンス部に所属し、今は亡き戸塚恵理子先生から毎日のように叱咤激励を受け、楽しく充実した活動をしてきたのを覚えています。

卒業後は医療系の専門学校へ進学し、医療事務として病院勤務を7年経験いたしました。

私の場合、保育とは別の道に進むことになりましたが、医療の現場でも保育科で学んだことが様々な場面役に立ちました。それらは母校育英高校の多くの先生方からの指導の賜物であり、今でも大変感謝しております。

そんな先生方と再びお会いできたのは、今から6年前のことでした。育英高校の求人に出会い、ありがたく採用していただき、現在は育英高校の事務局に勤務しております。

私は保育科を卒業しましたが、そちらの方面へは進まず、別の道を選びました。二人のことも出産した後に勉強を重ね、現在はアロマセラピのサロン・教室を主宰しております。保育・幼児教育の世界で頑張っている友人たちの活躍ぶりを見て、幼児教育の世界に進まなかったことを後悔した時期もありました。そしてその度に、先生に短大進学を強く勧められたことなどをありがたいた言葉とともに思い出しました。

勤務しております。

私は周りにいらっしやる皆さんの先生方よりあなたたいご指導をいただきながら日々の仕事に奮闘しております。そして卒業して十七年たった今も当時と変わらず楽しく充実した日々を過ごしております。

校内を歩くと高校生の頃のことや昨日のようによみがえります。私の中で育英高校の思い出は一生の宝となつて、これからも決して色褪せることはないと思います。育英高校で学び、たくさんの優しい先生方や仲間に出会えた私は本当に幸せものです。

みなさんもたまには母校へ元氣な顔を見せに来られてはいかがでしょうか♪



幼児教育を諦めた私ですが、娘に触発されるかのように自分のできる範囲でもともと関わってゆける道を模索してきました。最近では幼児児童向けの講座をスタートさせ、育英高校保育科に通った3年間を無駄にすることなく活かしてゆきたいと思っております。

後援会だより

前橋育英高等学校創立50周年に向けて

前橋育英高等学校 後援会長

前田 勇



前橋育英高等学校は、昭和三十八年四月十二日に開校式並びに第一回入学式が挙行されて以来、五十周年を迎えようとしております。学校関係者として誠に喜ばしいこととあります。

高校創立当初、創始者の中村有三学園長様には、筆舌に尽くし難い大変なご苦勞をなされたと伺っております。平成五年秋に挙行された創立三十周年記念式典にて、台湾から来られた林清波董事長先生が、「木の実を食べる時には、木の根を拝みなさい。」と創始者を称えられていたことが今も胸に熱く残っております。

去る十月四日、創立五十周年事業実行委員会第一回の会議が持たれ、記念事業の概要と推進体制が熱心に議論されました。

前橋育英高等学校創立五十周年を心からお祝い申し上げます。結びといたします。

記念式典は、平成二十五年十月十九日(土)(予定)を目指して準備が進められます。式典は高校第二体育館、記念祝賀会は第一体育館を会場としての開催が予定されております。

記念事業の実施に際しては、経費節減に努めますが、それでも多額の費用を要します。たまたま私が募金委員長を仰せつかっておりますので、学園・高校関係者の皆様のご協力を伏してお願ひ申し上げます。

平成二十四年度・後援会定期総会を開く —七月十一日(水)ロイヤルホテル—

今年度も七月十一日定期総会が開かれ無事に議事全般で承認されました。

役員改選では長年、監査として勤めていた長谷川容弘様が退任された後任に、岡田賢司氏、信澤計雄氏が選出されました。

なお常任理事で勤めていただいております城田博巳様も退任されました。

二人の方の長年の功績を無駄にしないように、現役員はこれからも頑張っていく所存でございます。

新体育館も完成し増々の前橋育英高校の発展が期待される中、後援会も増々の応援をして行きたいと思っております。



今年度の優秀育英生を表彰



後援会の「優秀育英生表彰規則」により、文化・スポーツ等で、全国・国際大会レベルで一定の功績のあった生徒を表彰しました。

表彰式は、十一月十九日(月)に会議室にて行われ、後援会長・校長より賞状と記念品が授与されました。表彰された生徒は次のとおりです。

- サッカー部 鈴木徳真(11) 渡邊凌磨(12) AFC U-16選手権イラン2012 準優勝
 - 放送無線部 横堀ゆう(31) 黄 美貞(31) 第59回NHK杯全国高校放送コンテスト出場
 - 囲碁将棋部 宮崎裕貴(11) 第36回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会出場
 - 合唱部 後藤駿也(31) 第13回高校生のための歌曲コンクール 優秀賞
- 以上の皆さんでした。おめでとうございます。

合同研修旅行 筑波大学・筑波宇宙センターへ

秋晴れの天気の中、2日間の「茨城」研修(見学)旅行に行つて来ました。見学一つ目の筑波大学では、広大な敷地の中に教室棟や研究棟などの多くの建物が余裕を持って配置されており、学生達も豊かな自然に包まれた中で質の良い勉強をしているのだろうと感じられるものでした。

また、見学二つ目の筑波宇宙センターでは、実物大の人工衛星やロケット、国際宇宙ステーションのカットモデルなどの展示に加え、宇宙の不思議のあれこれが多くパネル等で紹介されており、宇宙好きでは無くても楽しめて勉強になるものでした。



ジャクサ



宇宙センター

コラム育英IIを始める前に一言...

この育英IIコラムを十数年書き続けていただいたS氏様が退任されました。このコラムを続けて行き守り続けて来た事、そして育英高校を見守り応援し続けて来られた事を素晴らしい事と感激しております。後を引き継ぐ者として続けた方がいかに新しいものへ変えて行くのか悩む私Oがいます。中途半端に終わりにならないか悩みましたが後を継ぐ決心をさせてもらい育英IIコラムを継続して行きたいと思っております。それは始まりです。

「好きな名言」

大丈夫だと思えばもう少し
もう少し
大丈夫
私の好きな言葉です。
みなさんは好きな言葉ありますか？何か一つの言葉を持ち毎日を過ごしてみてはどうですか...

(O記)



第一体育館落成記念 演劇教室「ヘレンケラー」

教頭 高瀬 元彦

去る八月二十日、新体育館が晴れて完成し、安全祈願祭も施行されました。創立五十周年事業の一端でもあり、その落成記念として生徒全員に体感してもらおうため、十月十六日に演劇教室を実施することとなりました。



東京演劇集団「風」は「ヘレン・ケラー」のひびき合うものたちの上演を通して単に作品を理解する

るというだけでなく、見る喜びとともに観客と舞台をつくり感動を共有するという考えの基、中学校を中心に公演を行い全国の巡回しています。午前・午後の二回公演をしたが、それぞれ別な感動を覚えたのは観る側の生徒の反応がそれぞれ違っていたのだらうと思われました。

終了後俳優さんと生徒代表との座談会も実施され、生徒にとつて自分の契機となり、有意義な時間を共有した1日となりました。



科学愛好会

SSH・SPP等合同成果 発表会(中間報告)

田中直人(顧問)

本校科学愛好会は、特殊な代謝系を持つ植物「アイスプラント」を研究テーマとして日々活動しています。

今回のポスターセッションでは、埼玉大学で行った実験を中心にアイスプラントの有効性の一部を紹介しました。世界中で注目されはじめている研究に、高校生として独自の視点をもって迫れるよう今後活動していきます。



演劇部

県高校芸術祭 優良賞受賞!!

鈴木尚子(顧問)

五年ぶりの県大会出場を果たしました。今回は、前回に比べるど、地区大会からのモチベーションを切らさずに、部員一丸となった県大会に臨むことができました。関東大会出場はなりませんでしたが、部員達は何かしらの手応えを感じたようです。「次こそは」の言葉を胸に秘め、勇気を持って新たな一歩を踏み出したいと思えます。



硬式野球部

秋季関東高校野球大会 を終えて

硬式野球部長 中沢 洋一

この度の関東大会出場に際してのご支援、ご声援に心から感謝申し上げます。

二つ勝てば...という各方面からの激励を背に試合に臨みましたが、浦和学院に3対5で敗れました。点差以上の差を痛感するとともに、明確な課題が浮き彫りになった試合でもありました。一つの事が終わった瞬間に、次の事が始まる。前向きに謙虚さを忘れず、選手・指導者が一丸となって前進する所存です。今後かわらぬご声援を宜しくお願い致します。



感謝

主将 荒井 海斗

甲子園をかけた試合という事もあり、今までに味わったことのない重圧がかかっていました。これから、夏の甲子園で校歌を歌う事を目指して練習していきます。沢山の方々に応援していただき、野球ができた事を本当に嬉しく思います。応援ありがとうございました。

試合結果

準々決勝 対 浦和学院(埼玉) 3-5

全国大会出場決定!! 応援よろしくお願ひします!

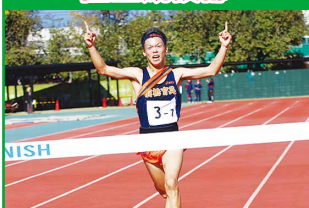
男子バスケット部



今年度に入り無冠であったが、今大会の予選では、選手の必至な想いに女神が微笑んだ。選手の合言葉は「全国制覇」と「コートの外でも日本一」である。広島開催となる今大会で「皆から愛されるチーム」となるよう奮起したい。

顧問/安西 智和

陸上競技部



エースが体育の授業で骨折し、苦しいオーダー編成であったが優勝することができた勝因は、チームの全員が同じ方向を向き全力で頑張ってきたからです。京都でも全員で戦う姿勢を大切に心でタスキを繫ぎます。

顧問/安達 友信

男子サッカー一部



3年連続で、決勝の相手は桐生第一。我々は、去年の敗戦を忘れることなくこの一年頑張ってきた。結果は17回目の優勝。サッカー部員204名の力が一つになり選手達を後押ししてくれました。全国大会まで約1ヶ月最高の準備をして本番に臨みます。応援よろしくお願ひします。

顧問/山田 耕介

弓道部



先日行われた群馬県新人大会において団体戦で準優勝し、個人戦で2年生の梅沢君が射詰競射の末、優勝を決めて全国選抜大会に出場することになりました。チームの代表として全国を経験し、次へ繋がるような試合内容にできるような大会へ臨みます。

顧問/真下 智紀

全国大会スケジュール

- 【弓道部】
全国高校選抜弓道大会 12/24~26 (神奈川)
- 【サッカー部】
全国高校サッカー選手権大会 12/30~1/14(国立競技場ほか)
- 【バスケット部】
全国高校選抜バスケットボール大会 12/23~29(広島)
- 【陸上競技部】
全国高校駅伝競走大会 12/23(京都)

編集後記

文化副委員長 須藤 勝美

今年秋の訪れが遅く、気づけばもう冬となりました。今号は、たくさんの行事がピツクアップされています。さまざまな面での活躍も見受けられました。育英高校の希望も膨らんでいます。

合同誌の発行にご協力いただいた、たくさんの方々に感謝いたします。

合同紙広報委員

高学後同	保護者会
" " " " " 援窓 " " " " " "	
" " " " " 校園会	
宮徳戸岡安高岩小上野一吉足辻須後	藤
澤光塚上達瀬川原口森真佐美正恵勝	香
千尚浩直友元正靖敏治代	織
春之美美信彦典晃広	